

要 旨

試験委託者

環境省

表 題

m-Phenylenediamine のオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する繁殖阻害試験

試験番号

0114EDR

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドラインNo.211「オオミジンコ繁殖試験」(1998 年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質: *m*-Phenylenediamine
- 2) 暴露方式: 半止水式 (48 時間毎に試験液の全量を交換)
- 3) 供試生物: オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間: 21 日間
- 5) 試験濃度(設定値): 対照区, 0.10, 0.22, 0.46, 1.0 および 2.2 mg/L (公比; 2.2)
- 6) 試験液量: 80 mL/容器
- 7) 連数: 10 容器/試験区
- 8) 供試生物数: 10 頭/試験区 (1 頭/容器)
- 9) 試験水温: 20±1°C
- 10) 照明: 室内光、16 時間明/8 時間暗
- 11) 分析法: HPLC 法

結 果

1) 試験液中の被験物質濃度

被験物質濃度の測定値で設定値の±20%を超えるものがあったため、各影響濃度の算出には実測値を採用した。

2) 21 日間暴露の各影響濃度結果を以下に示す。

親ミジンコの半数致死濃度(LC50):	1.1 mg/L (95%信頼区間: 0.47～2.3 mg/L)
50%繁殖阻害濃度(EC50):	0.62 mg/L (95%信頼区間: 0.57～0.68mg/L)
最大無作用濃度(NOEC):	0.20 mg/L
最小作用濃度(LOEC):	0.47 mg/L